Impressa X9 取扱いマニュアル

ユーラ　インプレッサ X9　ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検
メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去
定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄
長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

食洗機のご使用はお避け下さい。部品の脱落や変形、不具合の原因となります。ドリップトレイ、水タンクをはじめ、
いかなる部分もお手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

4. 保証書
故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合
故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為
⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて
●コンセントは、100V（ﾎﾞﾙﾄ）で機械一台あたり 15A(ｱﾝﾍﾟｱ）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ / コードについて
●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について
●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて
●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について
●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています。**
●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。
アース線は次の場所に接続しないでください。
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止
●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置
●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止
●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止
●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止
●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止
●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め
●定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について
●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

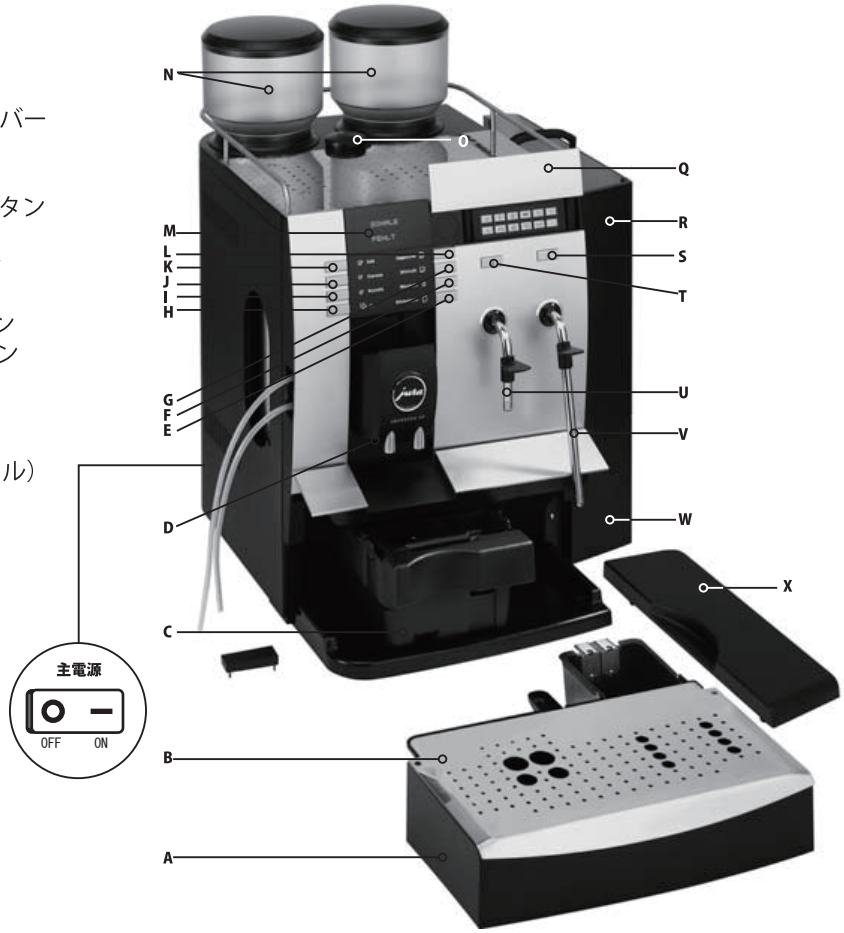
⚠ 注意：設置環境について
●周辺温度が 30℃以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

Contrasto 株式会社コントラスト
東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒 142-0041)
TEL03-3783-8899　FAX03-3783-6589
e-mail : info@contrasto.jp

各部名称

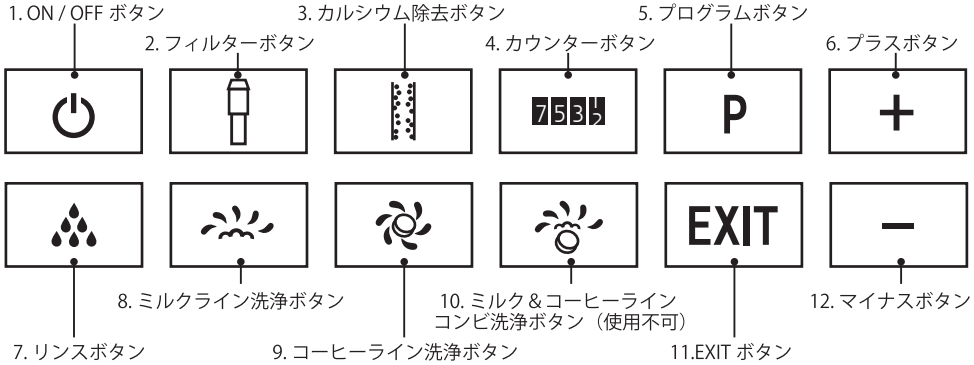
本体各部名称

A：ドリップトレイ
B：ドリップトレイカバー
C：粕ケース
D：抽出口
E：ミルクフォームボタン
F：マキアートボタン
G：カフェオレボタン
H：２杯取りボタン
I：リストレットボタン
J：エスプレッソボタン
K：レギュラーボタン
L：カプチーノボタン
M：ディスプレイ
N：豆コンテナー（ミル）
O：洗浄剤投入口
P：カップラック
Q：設定パネル扉
R：水タンク
S：スチームボタン
T：給湯ボタン
U：給湯ノズル
V：スチームノズル
W：備品入れ
X：水タンクカバー



設定パネル扉内

1 ：ON / OFF ボタン
2 ：フィルターボタン
3 ：カルシウム除去ボタン
4 ：カウンターボタン
5 ：プログラムボタン
6 ：プラスボタン
7 ：リンスボタン
8 ：ミルクライン洗浄ボタン
9 ：コーヒーライン洗浄ボタン
10：ミルク＆コーヒーラインコンビ洗浄ボタン
（日本仕様は使用不可）
11：EXIT ボタン
12：マイナスボタン



抽出の基本

①コーヒーの抽出

ここでは初期設定時のメニューでの説明となります。
１杯取りの場合は抽出口 (D) の２本のノズルの真下にカップを置き抽出口の高さを調整します。二杯取りの場合は各々のノズルに合わせてカップをセットします。お好みの抽出ボタンを押して下さい。

②ミルクメニューの抽出

※ミルクを使用するメニューは一杯取り専用です。
市販の牛乳（成分無調整）を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。

ミルクチューブの先端を紙パックまたは容器・ミルククーラーにとった牛乳に差し込みます。
カップを抽出口の２本のノズルとその後ろにあるミルク抽出口の真下にセットします。
お好みのミルクメニューのボタンを押します。
最初にミルクフォームが抽出され、続いてコーヒーが抽出されます。ミルクのみの抽出も可能です。

③給湯・スチーム

給湯ボタン (T) を押すと給湯ノズル (U) から設定量のお湯が抽出できます。
スチームボタン (S) を押すとスチームが連続して抽出できます。もう一度押すと止まります。

④キャンセル（中止）

各操作を中止したい場合はもう一度同じボタンを押してください。動作は途中で終了します。

各種設定

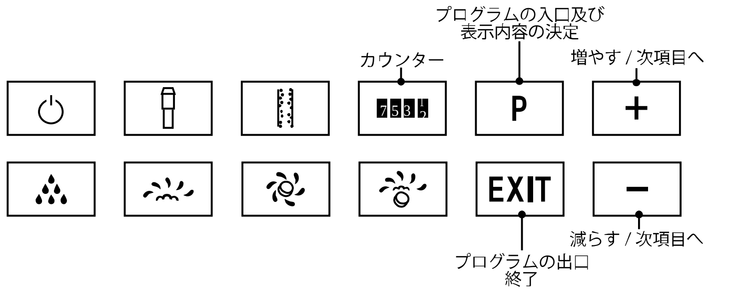
共通操作

[P] 長押し プログラムへ → [＋][−] 項目選択

●設定できる項目

- **●水質硬度（HARDNESS）**
- **●メニュー設定（SETTING）**
  - ├コーヒー抽出量
  - ├ミルク (フォーム) 量
  - ├コーヒー濃度
  - ├グラインダー設定
  - ├コーヒー温度
  - ├給湯量
  - └スチーム量
- **●時刻設定（TIME）**
- **●ON・OFF タイマー（TIMER）**
- **●自動終了（OFF.AFTER）**
- **●リンス設定（RINSING）**
- **●言語（LANGUAGE）**
- **●ディスプレイ表記単（DISPLAY）**
- **●カウンター（INFORMATION）**

[P] 選択決定 → [＋][−] 設定の増減・選択（または詳細項目へ） → [P] 決定（CONFIRMED）続けて他の詳細項目を設定する時は＋－ボタンで選択 → [EXIT] 設定終了 続けて他の項目を設定する時は＋－ボタンで選択後、左記手順を繰り返します ↓ [EXIT] プログラム終了（COFFEE READY）



●水質硬度（HARDNESS）

カルシウム除去の周期に関する設定です

コーヒーマシーンをカルシウムや水垢による故障から守るために、ご使用になる場所の水質をチェックし、硬度を設定する必要があります。

同梱の Welcome Pack に入っている AQUADUR（水質試験紙）でご使用水の硬度を測定します。
1. 試験紙を紙袋から出し一秒間水に浸けます。
2. 水を切り一分間待ちます。
3. 余白の多いほうを右に左から 0,1,2,3,4, と読み、何番の色まで赤っぽく変色しているか確認、その番号が硬度となります。

設定項目で HARDNESS を選択、
＋ボタンで試験紙が赤くなった位置まで□を反転させ（＝■）P ボタンで決定します。

試験紙 0：■□□□□
試験紙 1：■■□□□
試験紙 2：■■■□□
試験紙 3：■■■■□
試験紙 4：■■■■■

※ NOT ACTIVE には設定しないで下さい

●メニュー設定（SETTING）

※設定項目で SETTING → P（決定）SELECT PRODUCT と表示されたら、設定を変更したいメニューのボタンを押してください。

コーヒー抽出量 / WATER

25 ～ 300ml の範囲（5ml 単位）で設定
SETTING → P →量変更したいメニューボタンを押す→ P → WATER・・ML と現在の設定が表示される→ P →＋－ボタンで量を指定→ P（CONFIRMED ＝決定）

ミルク (フォーム) 量 /MILK (FROTH)

注）ミルクを使わないメニューでは表示されません。

0 ～ 120 秒の範囲（1 秒単位）で設定
SETTING → P →量変更したいミルクメニューボタンを押す→ P →＋－ボタンで MILK・・SEC（ミルク） または FROTH・・SEC（ミルクフォーム） と表示させる→ P →＋－ボタンで量を指定→ P（CONFIRMED ＝決定）

コーヒー濃度 / POWDER

SETTING → P →量変更したいメニューボタンを押す→ P →＋－ボタンで POWDER と表示させる→ P
ディスプレイに目盛り－□□□□□＋が表示されるので＋－ボタンで量を指定→ P（CONFIRMED ＝決定）
※右に行くほど濃くなります

注） ２杯取りを設定しているメニューでは１杯取りメニューを中心より右側に設定しますと２杯取りメニューとの味のバランスが崩れます。左半分で設定して下さい。

グラインダー設定 / GRINDER

左右の豆コンテナの使用割合を設定。２種の豆をメニュー毎に使い分けたりブレンドしたりすることが可能です。

SETTING → P →設定したいメニューのボタンを押す→ P →＋－ボタンで GRINDER・・%・・%（現在の設定）を表示させる→ P →＋－ボタンで以下の選択肢から選んで P（CONFIRMED ＝決定）

（左）	（右）
100%	0%
75%	25%
50%	50%
25%	75%
0%	100%

コーヒー温度 / TEMPERATURE

SETTING → P →設定したいメニューのボタンを押す→ P →＋－ボタンで TEMP.NORMAL（現在の設定）を表示させる→ P →＋－ボタンで LOW（低）・NORMAL（中）・HIGH(高）から選択→ P（CONFIRMED ＝決定）

給湯量・スチーム量

SETTING → P →給湯またはスチームボタンを押す→現在の設定が表示される
給湯量：HOT WATER・・ML（5ml 単位）
スチーム量：STEAM・・SEC（1 秒単位）
→＋－ボタンで量を指定→ P（CONFIRMED ＝決定）
※温度の選択はできません

※各項目の設定後、続けて他の詳細項目を設定したい場合は＋－ボタン、他のメニューを設定したい場合は EXIT ボタンを押してから任意のメニューボタンを押します。

●時刻設定（TIME）

ON OFF タイマーを使用する場合に設定します。現在時刻と曜日を設定して下さい。時間設定→ P →分設定→ P →曜日設定→ P

● ON・OFF タイマー（TIMER）

※時刻設定後にご利用可能となります。

MACHINE ON ーー：ーー (1 分単位)
設定した時刻に電源が入ります。
MACHINE OFF ーー：ーー (1 分単位)
設定した時刻に電源が切れます。
ON/OFF MON ～ SUN
ONOFF タイマーを利用するかどうか曜日ごとに YES/NO で選択できます

●自動終了（OFF.AFTER）

最後の抽出から一定の時間が経つと自動的に電源をおとすことができる設定です。0.5 ～ 9 時間の間で設定可能（最短 30 分、以降は 1 時間単位）

●リンス設定（RINSING）

マシン起動時のリンスに関する設定です

MANUAL ＝任意のタイミングでリンスボタンを押して、すすぎをします。
AUTO ＝自動的にリンスをはじめます。

●言語（LANGUAGE）

英･仏･独･伊･蘭の 5 種から選択可能。初期設定は英語です。日本語はありません。

●ディスプレイ表記単位（DISPLAY）

時間表示 24H または AM/PM から選択
容量表示 ML または OZ から選択

●カウンター（INFORMATION）

各メニューの抽出杯数および洗浄等のメンテナンスの回数・進行状況が確認できます。

TOTAL（総抽出杯数（給湯・スチームもカウントに含まれます））

＋ボタンを押す度、順番に各メニュー毎の杯数が表示されます。

更に続けて押すとメンテナンス作業の回数（NUMBER）と進行状況（STATUS）を見ることができます。
CLEAN COFFEE（コーヒーライン洗浄）
DECALCIFYING（カルシウム除去）
CHNGE FILTER(フィルター交換）
CLEAN CAPPU（ミルクライン洗浄）

（※抽出杯数はカウンターボタンの長押しでも見られますがメンテナンス情報は表示されません）

抽出の準備

①給水

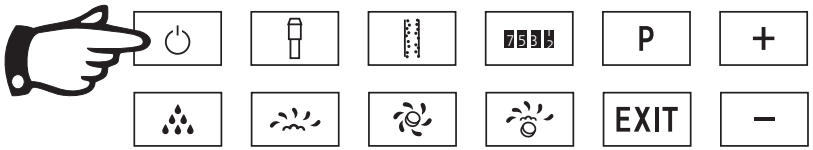
本体背面の主電源スイッチが ON になっていることを確認し、
(通常ONのままご使用ください。電源コードを抜き差しする場合はOFFにして下さい。)
水タンクに半分以上（最大 5 リットル）水を注ぎ本体にセットしてください。

②コーヒー豆の補給

豆コンテナーに豆を補給してください。（片側最大 650 グラム）

③電源 ON

設定パネル右サイドにあるボタンを押すとパネル扉が上にスライドして開きます。
設定パネル左上の電源キーを軽く一回押します。電源が入ると **WELCOME TO JURA** と表示されます。



WELCOME TO JURA

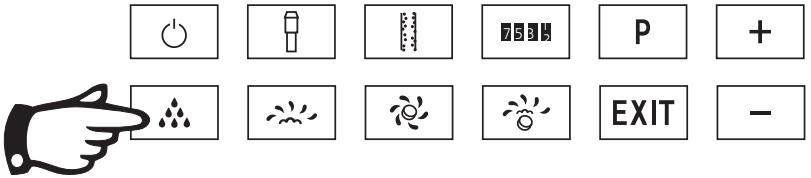
④暖機

内部温度が適温に達するのを待ちます。
適温になりますとディスプレイの表示が **MACHINE HEATING UP**（暖機中）から **PRESS RINSE**（リンスしてください）に変わります。

MACHINE HEATING UP → **PRESS RINSE**

⑤リンス（すすぎ）

コーヒー抽出ノズルの下にステンレスカップを置き、設定パネルのリンスボタンを押してください。リンス後、 表示が **COFFEE READY** に変わり、抽出準備が整います。



COFFEE READY

⑥ならし運転

左側のグラインダーがまわるメニューボタンをどれかひとつ押してコーヒーを 1 杯出し、捨てます。
同じく右側のグラインダーがまわるメニューボタンをどれかひとつ押してコーヒーを 1 杯出し、捨てます。
ランプがついているメニューが抽出可能なボタンです。

日常のメンテナンス

①水の補給

WATER TANK FILL

水タンクの水が少なくなると
左の表示が出ます。
水タンクに水を補給してください。

②コーヒー豆の補給

FILL BEANS

豆コンテナーの豆が無くなると
左のように表示されます。更にどちらのコンテナに補給すべきか下記の表示がでますので、指示のある方のコンテナに豆を補給して下さい。
GRINDER LEFT: 左のコンテナ
GRINDER RIGHT: 右のコンテナ

③ドリップトレイの排水

DRIP TRAY EMPTY

ドリップトレイに排水が溜まると
左の表示が出ます。
右の図に従って排水して下さい。

④コーヒー粕を捨てる

EMPTY COFFEE BIN

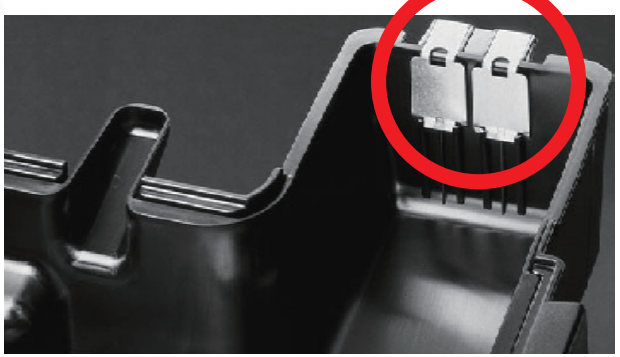
約４０杯の抽出で粕ケースが
コーヒー粕で一杯になります。
右の図に従って捨てて下さい。

ドリップトレイは前端を軽く上へ持ち上げて
手前に引くと簡単に外れます。

粕ケースはドリップトレイを取り外し、
前面カバーを持ち上げると（ひっかからないようスチームノズルを少し上によけておく）
取っ手が見えますので、手前へ軽く引くと取り出せます。

！ポイント！

終業時には赤の円で囲んだ
接点電極を中性洗剤で洗い
乾いた布で水気を拭き取って
お戻し下さい。



食洗機使用禁止

部品の変形や脱落、不具合の原因となります。いかなる部品も
お手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

①

PRESS RINSE が繰り返し表示され抽出ができない

水タンクがきちんとセットされているか確認する。[図 a]
水タンクの下にコーヒー豆などの異物が挟まっていないか確認する [図 b]

[図 a]　×　　○

[図 b]

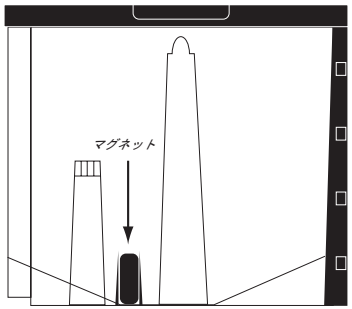
②

WATER TANK FILL と表示され抽出ができない

水の量を確認する。水が入っているのに表示される場合は水タンクがキチンと本体にセットされているか確認する。[図 a]

水タンク内の水位感知マグネット（黒いプラスチックの部品）がはずれていないか確認する。[図 c]

水タンク内側面

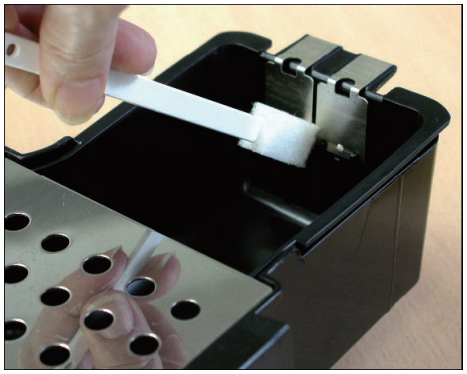


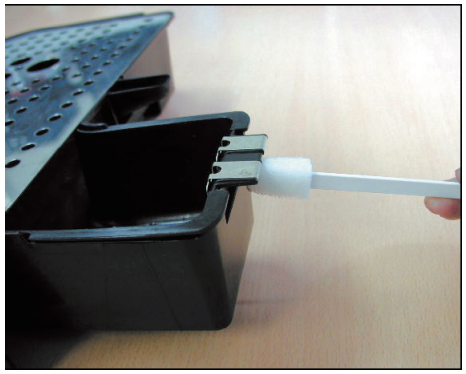
図c

③

DRIP TRAY EMPTY **DRIP TRAY MISSING** と表示され抽出ができない

ドリップトレイ（排水トレイにたまった水を捨てる。捨てても表示される場合は接点電極の間のプラスチック部分を、スポンジ等に中性洗剤をつけて [図 d.e] のように清掃する（電極についた水分は必ずふき取ってからセットしてください。）





④ ミルクが泡立たない
ミルクがぬるい

エアーサクションの清掃をしてください。
「ミルクフォーマーの清掃」のページをご参照ください。

トラブルシュート

ディスプレイに表示されるケース

表示	意味	状態	解決方法	それでも復帰しない場合は
WATER TANK FILL	水タンクに水を入れて下さい	水タンクの水が少ない	水を補給して下さい	★『トラブルシューティング』ページの②をご確認下さい
FILL BEANS	コーヒー豆を入れて下さい	豆ホッパーに豆が入っていない	コーヒー豆を補給して下さい	★もう一度抽出を試みて下さい ★豆の油脂でホッパー内が汚れていれば拭き取って下さい
CHECK BEAN CONT-AINER	豆ホッパー要確認	油分により豆同士がくっついてホッパー内に空洞ができ、スムーズに落ちていない	清潔なスプーンやフォーク等でホッパー内の豆をつついた後、コーヒーを1杯抽出して下さい	★販売代理店にご連絡下さい
COFFEE SPOUT MISSING ※一部店舗を除く	抽出口カバーがありません	抽出口カバーが外れているか、正しく取り付けられていない（危険防止の為抽出不可）	『ミルクフォーマーの清掃』ページの①、④を参照のうえ、抽出口カバーを取り付けなおして下さい。	★販売代理店にご連絡下さい
EMPTY COFFEE BIN	粕ケースを空にして下さい	粕ケースがコーヒー粕でいっぱいになっている	粕を捨てて下さい	★粕ケースを取り出し、10秒後に再セットしてください
DRIP TRAY MISSING	ドリップトレイが入っていません	ドリップトレイがきちんと入っていない	ドリップトレイを入れなおして下さい	★『トラブルシューティング』ページの③をご確認下さい
DRIP TRAY EMPTY	ドリップトレイを空にして下さい	ドリップトレイが排水でいっぱいになっている	ドリップトレイに溜まった排水を捨てて下さい	★『トラブルシューティング』ページの③をご確認下さい
CLEAN	洗浄タブレットによる洗浄が必要です	抽出ユニット内部が汚れている	洗浄タブレットを使って洗浄プログラムを実行して下さい	★洗浄タブレットを使用せずにもう一度洗浄プログラムを行って下さい
DESCALE	カルシウム（水垢）除去が必要です	内部配管に水垢が蓄積しています	カルシウム除去剤を使ってカルシウム除去プログラムを実行して下さい	★カルシウム除去剤を使わずにもう一度カルシウム除去プログラムを行ってください
ERROR	機能不全	操作不能です	販売代理店にご連絡下さい（電源、主電源を切り、コンセントを抜いて、15秒後に再度電源を入れて下さい。一時的に復帰する場合があります）	★販売代理店にご連絡下さい

それ以外のケース

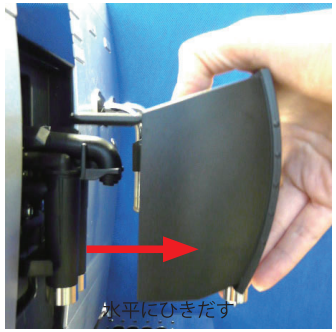
症状	原因	対応
コーヒーの抽出量が極端に少ない	豆の挽きが細かすぎる	★豆の挽き調整を粗くする
蒸らし後抽出されない	コーヒー豆が十分に供給されていない	★もう一度抽出を試みる
グラインダーの音がうるさい	グラインダーに異物が入った	★販売代理店に連絡して下さい
ミルクの泡立ちが悪く温度が低い	ミルクフォーマーが汚れています	★ミルクフォーマーの清掃を行って下さい
スイッチが入らない	背面スイッチがOFFになっている 背面上部カバーが開いている	★背面スイッチを入れる ★背面カバーを閉じる
リンスをしても繰り返しPRESS RINSEが表示される	水タンクと本体の間に異物が挟まっている 本体給水口が目詰まりしている	★異物を取り除く ★給水口のごみを取り除く

ミルクフォーマーの清掃

ミルクの温度が低くなった、ミルクの泡立ちが悪いなどの原因はエアーサクション（空気孔）の目詰まりが原因です。下記の要領で清掃してください。

①抽出口カバーを取り外す
抽出口上部のカバー解除ボタンを押しながら手前に引くとカバーが外れます。

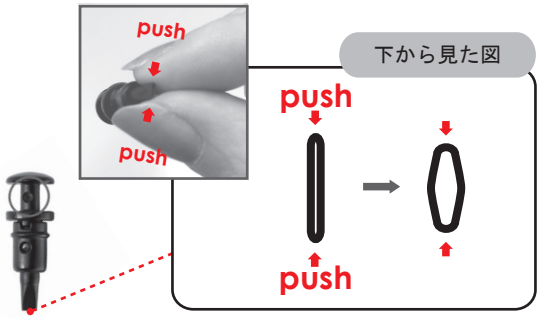
この金具が見える
程度まできたら



②エアーサクションを取り外し、下図のように押してみて口の部分がくっついてしまっていないか確認します。

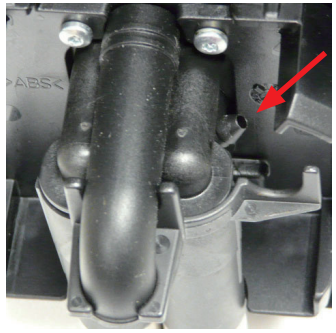
抽出口を一番下まで下げ、
左上端をおさえながら
L 字型の黒いチューブごと
上に引きぬき、

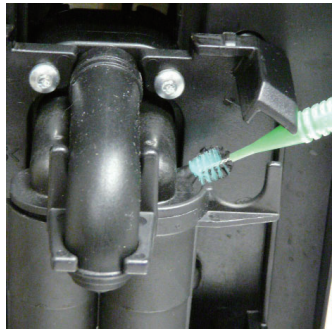
エアーサクション
を外します



不具合がある場合は付属のスペアと取替えます。
※この部品は水洗いしないでください

③ L 字型の黒いチューブが付いていた根元の孔を細めのブラシ等で清掃します。



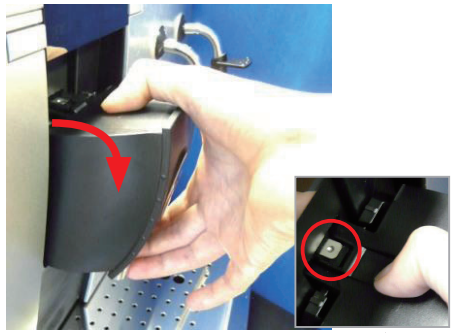


④ L 字型チューブ、エアーサクションを元通り差し込み
カバーをカチッと音がするまで差し込んでください。

カプチーノノズルの洗浄

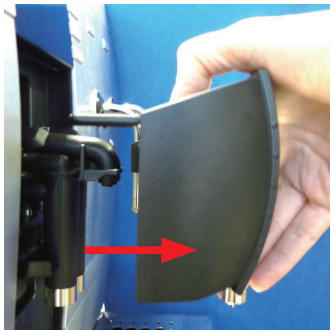
カプチーノノズルの目詰まり防止と除菌の為、一週間に一度終業時にノズルの洗浄を行って下さい。
注）マシンの電源を切ってから行って下さい。

①抽出口上部のカバー解除ボタンを押しながら手前に引き、カバーを外します。



カバーの上の部分を
手前に倒すように引き

この金具が見える
程度まできたら



水平にひきだす

②水またはぬるま湯 200cc をグラスや計量カップなどに取り、ラテウォッシュ 10cc をよく溶かします

③カプチーノノズルの先端がラテウォッシュ溶液に浸かるようにセットします。
このままの状態で30分以上放置して下さい。
（右図参照）

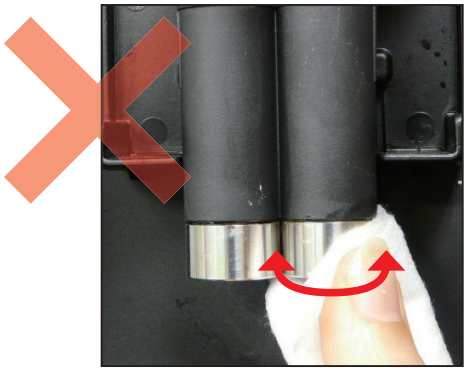
④容器を取り除き、ノズル先端の汚れを柔らかい布等で拭き取って下さい。
（右欄、「ノズル拭き取り時の注意」参照）

⑤ノズルカバーを取り付けます。
（カチッと音がするまで差し込む）

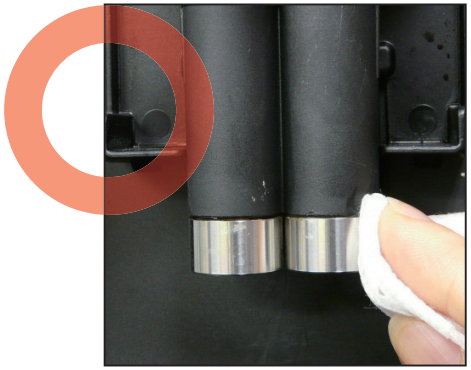
⑥コーヒーマシンの電源を投入し、リンスを２回行って下さい。

ノズル拭き取り時の注意

左記のような洗浄の際や
コーヒーやミルクの飛沫などを拭き取る際は
以下のことにご注意ください



ノズル先端部をまわし拭きしない
部品が回転して落下しやすくなります

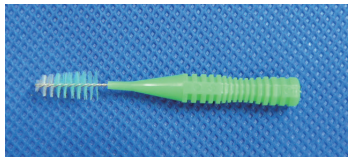


水分や汚れをとる時は
ポンポンと軽くおさえるように

■備品

●ステンレスカップ

●エアーサクション（スペア）及び清掃用ブラシ



■洗浄剤

●洗浄タブレット

●ラテ・ウォッシュ

●カルシウム除去剤

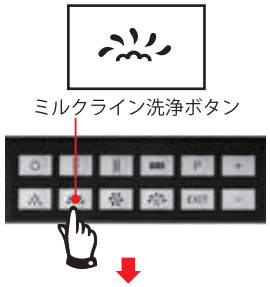
ミルクライン洗浄マニュアル（毎日おこなってください）

ミルクラインの
洗浄作業は
約２分かかります

洗浄作業は決して
中断しないで下さい。

①

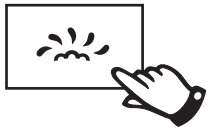
右サイドのボタンを押して設定パネル扉を開きミルクライン洗浄ボタンを軽く押します。以下のような表示が出ます。



CLEAN CAPPU
START YES

CLEAN CAPPU
TIME CA,2'

②



再度同じボタンを押すとミルクラインの洗浄プログラムが始動します。

③ CLEANER FOR CAPPUCCINO

250cc（ステンレスカップの半分位）の水に対し５%（12.5cc/付属の計量カップ使用）のラテ・ウォッシュをよく溶かして洗浄液を作り、ミルク吸入チューブの先を浸します。（牛乳を吸わせる要領で）

混ぜるな危険！換気注意！
《塩素系洗浄剤》
酸性製品と混ぜると
有害ガスが発生

④ PRESS KEY

抽出口の下に排水をうける容器を置き、ミルクライン洗浄ボタンを押します

⑤ MACHINE CLEANING

洗浄が始まります。
（この時受けた排水は捨てずに「カプチーノノズルの洗浄」にご使用下さい）

⑥ WATER FOR CAPPUCCINO

ピッと音がして表示が上記のように変わったら、今度はすすぎ用のきれいな水をステンレスカップ一杯分（約 500cc）用意し、ミルク吸入チューブの先を浸します。

⑦ PRESS KEY

抽出口の下に排水をうける容器を置き、ミルクライン洗浄ボタンを押します。

⑧ MACHINE CLEANING

⑨ COFFEE READY

洗浄作業は全て終了しました

※プログラムのキャンセル

誤ってミルクライン洗浄ボタンを押してしまった時は EXIT ボタンを押すとキャンセルできます。

※ミルク＆コーヒーライン同時洗浄プログラムについて

日本仕様のマシンはミルク＆コーヒーライン同時洗浄プログラムはご使用になれません。

コーヒーライン洗浄マニュアル（毎日おこなってください）

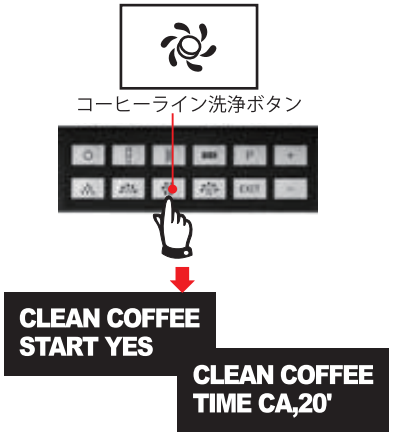
コーヒーラインの洗浄作業は約 20 分かかります

洗浄作業は決して中断しないで下さい。

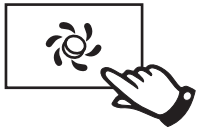
作業の妨げとならないよう抽出口とスチームノズルの位置を上にあげておきます

①

右サイドのボタンを押して設定パネル扉を開きコーヒーライン洗浄ボタンを軽く押します。以下のような表示が出ます。



②



再度同じボタンを押すと洗浄プログラムが始動します。

③

EMPTY TRAY

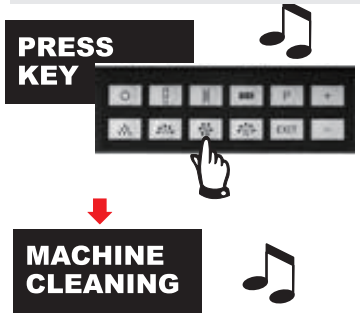
EMPTY COFFEE BIN

ドリップトレーと粕ケースを取り出し、空にして戻します。（※粕ケースを外している間は以下の表示が出ます。）

COFFEE BIN MISSING

④

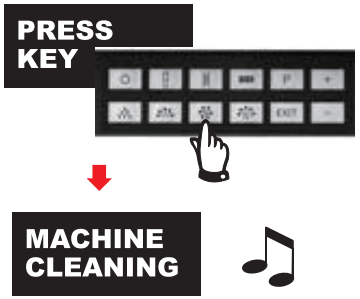
抽出口の下に排水をうける容器を置き、ピッと音がするまでコーヒーライン洗浄ボタンを長押しします



⑤

ADD TABLET

洗浄剤投入口に洗浄タブレットを１錠入れ、再度コーヒーライン洗浄ボタンを押します



⑥

EMPTY TRAY

EMPTY COFFEE BIN

ドリップトレーと粕ケースを空にし、ドリップトレー後部の金属接点部を**中性洗剤で洗います**。トレーと粕ケースを再びセットします。

⑦

COFFEE READY

洗浄作業は全て終了しました

※洗浄表示

洗浄は毎日終業時に行い、以下の表示が出た際にも行ってください。

CLEAN

CLEAN NOW

※プログラムのキャンセル

誤ってコーヒーライン洗浄ボタンを押してしまった時は、EXIT ボタンを押すとキャンセルできます。

※ミルク&コーヒーラインコンビ洗浄プログラムについて

日本仕様のマシンはミルク＆コーヒーラインコンビ洗浄プログラムはご使用になれません。

カルシウム除去マニュアル

ボイラー等重要部品を守るためのプログラムです。DESCALE の表示が出たら必ず実行。
自動給水装置（オプション）をご使用の場合は水タンクから取り外してください。

下図の表示が出たらカルシウム除去が必要です。（通常 2 ～ 3 週間に 1 回程度）

COFFEE READY　DESCALE

ボイラー内部にカルシウムが付着すると重大な故障の原因となります。高額な修理費を避ける為、必ず当日中に行って下さい。表示が出ていてもコーヒー、ミルクは抽出可能ですが**洗浄プログラム**が稼動しなくなります。

カルシウム除去の作業は約 50 分かかります

中断はできません
途中で電源を切らないで下さい

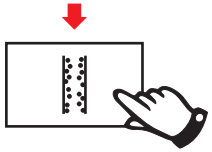
①

右サイドのボタンを押して設定パネル扉を開きカルシウム除去ボタンを軽く押します。

②

以下のように表示が出ます。再度カルシウム除去ボタンを押すとプログラムが始動します。

DESCALING START YES　DESCALING TIME CA ,50'



③

EMPTY TRAY　EMPTY COFFEE BIN

ドリップトレーと粕ケースを取り出し、空にして戻します。（※粕ケースを外している間は以下の表示が出ます。）

COFFEE BIN MISSING

④

SOLVENT IN TANK

水タンクを本体から外し、正確に計った 700cc の水にカルシウム除去剤 3 錠を完全に溶かし、空にした水タンクに注ぎます。※水タンクを外さないとマシンが手順を判断できないので必ず一度外してください

⑤

抽出口、給湯ノズル、スチームノズルの下に排水をうける容器を置き、カルシウム除去ボタンを押します

PRESS KEY

⑥

MACHINE DECALCIFYING

EMPTY TRAY

ドリップトレーと粕ケースを取り出し、空にして戻します。

⑦

WATER TANK RINSE FILL

上の表示に変わってから水タンクをよく洗い、きれいな水で満たします。※⑥のトレー、粕ケースを戻していない状態で新たな水をセットしてしまうと、手順⑤の水が残っていると判断し、同じ作業を繰り返してしまいます！

⑧

抽出口、給湯ノズル、スチームノズルの下に排水をうける容器を置き、カルシウム除去ボタンを押します

PRESS DECALCIFY

⑨

MACHINE DECALCIFYING

EMPTY TRAY　EMPTY COFFEE BIN

ドリップトレーと粕ケースを空にし、ドリップトレー後部の金属接点部を**必ず中性洗剤で洗います。**トレーと粕ケースを再びセットします。

⑩

COFFEE READY

カルシウム除去作業は全て終了しました

※ EMPTY TRAY 表示が消えない場合
カルシウム除去作業中に EMPTY TRAY 表示が出続けて進行できない場合は、トレーの電極を中性洗剤で洗ってから再開して下さい。